

ジュゴン Vol.56

ちゃんぷるニュース

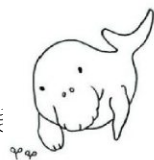


2011. 5. 10

～パシフィック・ジュゴン年～

CONTENTS

- 2/3 フィリピン訪問記②
- 防衛省 評価書提出の動き
- 名護市の動き
- 4 第11回総会の報告
- 6/7 CBD 市民ネット後継団体発足へ
- コラム・「山原の森と海の歌」
- 8 お知らせ



2008年バルセロナで開催された IUCN (世界自然保護連合) で3度目の沖縄のジュゴン保護勧告が採択されました。今やジュゴン保護は国際的な流れとなり、去年 2010 年は国際ジュゴン年、そして今年 2011 年はパシフィック (太平洋) ジュゴン年となっています。

また、今月の5月15日は沖縄復帰記念日で 1978 年以来 34 年続いている「平和行進」の日です。今年も普天間飛行場の県外・国外移転と辺野古への新基地建設反対をかかげ、平和の尊さを訴えながら練り歩きます。でも、今年の平和行進は震災の影響で少し縮小されるそうです。

★「毎月15日はジュゴンの日」です★

皆さん覚えてくれましたか?!

3月11日の東日本大震災以降、あたりまえに過ごしていた日常生活の有難さを痛感しました。そして全てのモノや人が繋がっている事をあらためて感じました。

—— そろそろ基地も原発も何処かの誰かに押し付けて、自分は快適な生活を送る恥ずかしさに気付かないといけませんね ——

今回の震災でも海外からの支援にとっても感謝しました。「Tomodachi 作戦」はいいけれど本当の友達なら「思いやり予算」なんかで莫大なお金を請求しないで下さいね!!

なにはともあれ海勢頭代表の言う「明るく、楽しく、包み込む」をSDCCのモットーに10年目の活動に突入です!!! 一緒に活動してくれる仲間をいつでも募集しています、ぜひ一度ご参加下さいませ。

★平和のシンボル・ジュゴンを通して、清らかな未来の姿を考えていきたいです★

(首都圏 小平裕美)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp

15日はジュゴンの日 (本面)



リボンをつけたジュゴンちゃんも頑張ってます!

第11回SDCC総会 (4面)



一本締めのお頭を取る目崎先生

「海を破壊する新基地も原発もいらない」



東日本大震災による福島原発事故が長引く中で、各地で原発いらないの声が高まってきています。原発が海岸や河川に建設されるのは、原発が発する熱量を冷却する大量の水が必要だからです。冷却水は熱量を含み、放出される温排水は海や河川を7~9度高くします。間違いなく、海、河川の生態系は大きな影響を受けています。

事故直後の3月20日、「上関の自然を守ろう！原発建設を止めよう！関西の集い」が行われました。生物多様性保護の視点から向井宏さん（京都大学）が、カンムリウミスズメをはじめ海の生物の多様性を原発の温排水が破壊していることを指摘。永沢啓行さん（大阪府立大学）は国や東電は原発建設の際に250キロに及ぶプレートが4メートル沖に移動することを想定しないと、今回の事故は人災であると厳しく批判しました。参加者からは上関原発が脆弱な地盤の上に建

設され、取水口も地滑り地帯に設置されるので、冷却水が地震で取り込めなくなると批判しました。

最後に、「生物多様性『愛知ターゲット』」を実行するためにも、原発の埋立て工事を全面中止するように要求する」決議を採択し、参加者全員で黙とうしました。事務局・蛭川義章



3500人が参加した4/16大阪・御堂筋の脱原発デモ。全国各地でデモが取組まれ、多くの参加者で盛り上がっています。

「種の保存法指定求める決議が上がる」

3月市議会で継続審議であった「ジュゴンを種の保存法に指定するように環境省に要請する」ことが採択されました。稲嶺市長を支える与党市議団が多数を獲得した結果、道理ある陳情を野党が無視できなくなってきています。しかし、保護区の指定については「生息地が名護市海域に限らず沖縄本島に及ぶため名護市のみで指定を要請することができないため」と不採択になりました。これは環境省の野党議員への入れ知恵なのです。しかし、大きな一歩を踏み出したことに変わりはありません。今後、名護市や沖縄県、環境省に要請する力になります。



さて、名護市役所は環境保全のための計画策定を進めるために機構改革を行いました。企画部環境対策課環境保全係が担当課になります。私たちは今年2月、稲嶺市長に「生物多様性保護条例」の制定を求める要請書を提出しています。市議会での決議と相まって、「基地に依存しない地域づくり」を進めていきたいと思います。

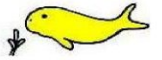
あみちゃんのフィリピン訪問記 ～その2～

保護区づくりで大切なもの

今号では従来の保護区からクリティカルハビタットという新しい保護区が生まれた経緯を見つめ、保護区づくりで大切なものについて考えたいと思います。

フィリピンでは1992年に保護区に関する法律ができました。その後、保護区管理の中でいくつか問題が出てきました。まず、保護区認定にかかる時間です。すぐにも守らなければいけない自然があるにもかかわらず、保護区認定にはスムーズにいったとしても何年もの時間を要しました。次に、従来の保護区は広い範囲の生態系を守る観点から、市や県をまたいだ大規模なものが中心でした。大きな保護区は関係者を集めた委員会を開くのが大変で、保護区の設定・管理に住民の声がなかなか反映されませんでした。

そこで、2007年にできたのがクリティカルハビタットに関する法律です。クリティカルハビタットでは問題を解消するため、認定手続きを半分以上にし、認定までの時間を短くしました。そして、国は認定以外の管理・運営の決定権を地域に委譲しました。また、広い範囲の生態系だけでなく1種、2種といった野生動物種単位での保護区設定が可能になりました。このことにより、市単位の住民、事業者、NGO、行政などが入った委員会で予算から管理まで



を話し合い、決定することができるようになりました。例えば、クリティカルハビタット内のすべてを漁業禁止にするのではなく、ジュゴンの回遊経路と住民の収入源を考慮し、この範囲なら漁業が可能であるといったゾーニングを住民が入った委員会で話し合い、決定していけるのです。

フィリピンの話を聞いて、私は保護区づくりには「認定のすばやさ」と「管理・運営において住民意見を反映させる仕組み」が大切であると思いました。人間の居住地に近い自然は、まずこれ以上、自然を壊さないように素早く手立てを講じるとともに、住民や関係者がじっくり話し合う場を設け、納得の上、管理、運営していくことで、地域に即した継続的な保護が可能になるのではないのでしょうか。

次号ではクリティカルハビタットについて、住民の方がどのように思っているかを伝えたいと思います。

関西・正阿爾崇子



クリティカルハビタット候補地
海草藻場が広がる海

クリティカルハビタット候補地にて市長、市職員、NGO スタッフを前に沖縄のジュゴンとSDCCの活動説明

創立10周年

第11回総会&10周年記念交流会を開催

4月10日(日)結成から満10年、3年ぶりに大阪で総会と10周年記念交流会を開催。永年SDOCを支援して下さり、お世話になっている参議院議員の山内徳信さん、名護市議会議員の東恩納琢磨さん、IUCN 日本委員会会長の吉田正人さん、WWF ジャパンの花輪伸一さん、週刊 MDS 編集部浅井健治さんから祝辞が届き、当日には目崎茂和先生が三重から駆けつけてくださいました。

総会は「月桃の花歌舞団」の歌で始まり、海勢頭豊代表の「来年IUCN世界自然保護会議が韓国の済州島で開催される。基地建設に反対し豊かな自然を守ろうとしている人々を応援し、会議を盛り上げるため皆で参加しましょう」と挨拶。来賓の目崎先生は「サンゴ礁しか知らなかったが、SDOCのおかげでジュゴンと会えた。これからは会員として参加します」と挨拶。国際担当の吉川さんからアブダビでのジュゴン保護署名国際会議の参加報告、関西スタッフからフィリピンのジュゴン保護区の取り組みを報告。蜷川事務局長から提案された総括、決算、今年度方針、予算案、人事が採択された。

第2部の交流会では、10年の歩みを懐かしい映像を見ながら振り返りました。6つのグループに分かれ、自己紹介、SDOC と出会ったきっかけなど楽しくおしゃべりし、どのグループも大きく盛り上がりました。最後に代表から「明るく、楽しく、前向きに、人を抱きこんで、愛で包み込んで行く。それを未来のために続けていく」と閉め、目崎先生の3本締めで閉会しました。

首都圏 矢敷克子



「来て良かった〜☆」「じゅごんの里ツアーに参加します！」など、参加者からの発言で盛り上がった交流会

沖縄・辺野古に基地を押しつけるな 4・16集会に参加して



4月16日東京皇陵会館で開催された、「沖縄・辺野古に基地を押しつけるな4・16集会」に参加しました。名護市からヘリ基地反対協代表委員の安次富浩さんが参加され講演をしました。

安次富さんは、冒頭東日本大震災に触れ、「トモダチ作戦などと言っているが、原発事故なのに原子力空母ジョージワシントンを派遣する無神経さにあきれ。これは核戦争を想定した訓練だ」「今自衛隊など運動を押さえるのは敵の思うつぼ」「原発をすべて止める運動をしていくべき」「若者が呼びかけた高円寺のデモに1万5千人が参加している。若者たちが動いている」と語りました。

また、沖縄の運動については、政府の名護市への兵糧攻め「米軍再編交付金16億円のカット」に対して、市議団と共に稲嶺市政を支える決意を語りました。

いつもながら、最前線で闘っている安次富さんの講演は、説得力がありました。集会終了後、首相官邸前に移動し、申し入れを行いました。 首都圏 三村昭彦





アースデイTOKYO2011 参加報告

4月23日24日の両日、東京代々木公園一帯で開催された、「アースデイ TOKYO2011」に参加してきました。東日本大震災と福島原発事故という、特別な時期に開催されるアースデイ。SDCC もいつもの展示に加えて、「きれいな海に基地も原発もいらぬよ」というポスターを加えて、ブースと署名活動に取り組みました。関東関西あわせてのべ10数名のスタッフが参加し、にぎやかに活動しました。

初日は一日小雨ざみでしたが、500筆近くの署名が集まりました。二日目は快晴。人出も増えて2日間で合計2000筆以上あつまりました。今年も2頭のジュゴンは大活躍。折り紙を受けとって下さった方は、ほとんど署名してくれました。おとなりの「サメ保護」のブースとも仲良くなり、「ジュゴンとホオジロザメ」の記念写真も撮りました。

2日目午後には「エネルギーシフトパレード」もあり、原子力以外のエネルギーへのシフトが、人類の生存にとって不可欠だと訴えられました。そう！基地も原発もいらぬよ！

関西・松島洋介



Wジュゴンちゃんで、終始盛り上がっていたSDCCのブース。沢山の方とお話をして、ジュゴンのかわいさに魅了された方、ジュゴンの事を知らない方、沖縄にいるの?!とビックリされる方といらっしゃいました。私はアースデイをきっかけに、沖縄のジュゴンの事を知り会員になったのですが、今回のアースデイを機に、ジュゴンを気にかけてくれる方が、一人でも多く増えてくれることを願っています。ジュゴンを守ろう!!

首都圏・戸田彩



1日目はあいにくの雨でしたが、逆に混雑していない分ゆっくり説明しながら署名集めが出来ました。そんな中、「きれいな海の埋め立ては良くないが、よそにも受入先は無い。私の名案：滑走路前後の人に引越料+2千万ほど支給して移動させる。普天間は基地が無ければ街も消える。返還したら後悔する筈」とほくほく顔で語る老人も。返還を求める市長を選び続ける民意を無視して嫌なものを押し付けるのは人権侵害だと気づいてほしいですね。

関西・海勢頭聖

報告

市民ネットの後継団体発足へ



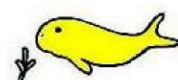
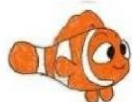
4月29日、生物多様性条約市民ネットワーク終結総会が名古屋で開かれました。冒頭、東日本大震災と福島原発事故について、「NGOは言うべきときは言うことが必要」（高山共同代表）と「原子力政策に関する緊急提言～いのちを尊重する社会へ」が紹介され、全員で黙とうしました。

事業報告（第1号議案）では、COP10 会期中にも進められた沖縄の基地や原発建設計画に端的なごとく、国際社会が生物多様性損失の「根本原因」に正面から向き合っていないと指摘。「愛知ターゲット」を実現する運動を展開する必要があること（「共同代表による全体的総括」）が確認されました。SDCCは「沖縄での基地建設が生物多様性に与える影響を憂慮するとの先住民フォーラムの最終発言を明記すること」「名護市議会でジュゴンを種の保存法に指定することを環境省に求める決議が採択されたことをふまえて、種の保存法改正の大運動を後継団体が取り組むこと」を求めました。

事業報告、決算報告の採択をふまえて、愛知ターゲット

を実現する後継組織を設立することを確認して終結総会を終えました。その後、後継組織についてのフリートークングを行い、設立準備委員の立候補を受け付けました。

その後開かれた第1回準備委員会は、準備委員を確認して、設立総会を5月29日(日)に名古屋で開催することが確認されました。



みんなの協力で署名 5万筆超え

ゴールデンウィーク中もSDCCでは、総力をあげて署名集めに取り組みました。メーデー、国際映像祭、なんばアクション、地球愛まつり、浜寺公園アースデーなど、毎日、様々なイベントで署名を集めています。

また、会員やたくさんの協力者の方もいろいろな場所で署名を集めてくださ

っています。

うれしいことに、この連休中に署名が5万筆を超えました。私たちはさらに署名集めをがんばるとともに、署名してくださった方、集めて下さっている方の思いをきちんと政府に届けたいと思います。

（関西 正阿彌）



署名活動に 取り組んで

私は北海道出身で、帰省する度に機会があれば署名を集めます。

北海道では沖縄から遠い事もあり、多

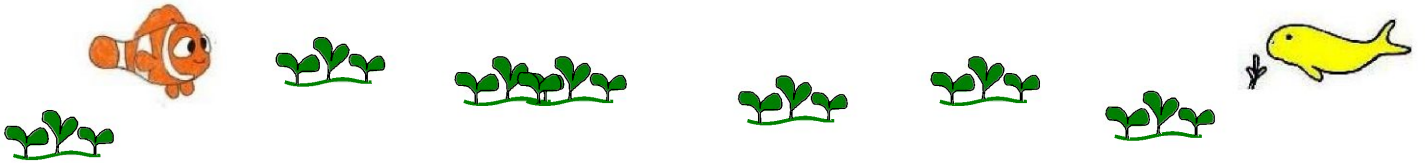
く方がジュゴンを知らなかったり、ジュゴンを知っていても沖縄に生息している事や絶滅が危惧されている事はあまり知られていません。北海道で署名を集める際はほとんど私一人で、一人ひとりに十分な説明が出来ない事が問題です。

また、昨今の個人情報保護意識の高まりから署名を躊躇する人は少なくあり

ません。個人情報提示する敷居が高くなったのだと思います。

しかし、「敷居」が高くなったからこそ署名した人の心に残り、ニュースでは、小さくしか取り扱われない、沖縄の基地やジュゴンの問題に感心を持ってもらえるのではないかと思います。

（首都圏 小西祐伸）



「山原の森と海の歌」～こらむ・コラム～

3月11日に突然起きた東北沖の巨大地震。それによって引き起こされた大津波が、次から次へと街を呑み込み、仙台空港や田畑を呑み込んでいった。そして津波がひくと、かつてコンサートの行き帰りに目にした光景が、見るも無惨なゴミ捨て場のような廃墟と化していた。マグニチュード9が如何程のものかは知らないが、ほんの小さな地球の身震いから起こした大津波。その物理的エネルギーの破壊力の凄まじさに呆然となったが、逆に人間の無謀な生き方を、強く反省させるエネルギーに変換して考えなければなるまいと思った。

特に福島第一原発までが破壊されての、安全神話の崩壊と、事故後の政府や東電の対応を見ると、沖縄の米軍基地問題と日本の原発問題が、米国の利益に適合するように仕組まれてきたものだということがよく分かる。しかし気持ち悪いことに、米軍は「ともだち作戦」と称して災害救援を行い、米軍の必要性をことさらに誇示する作戦に出た。そして相も変わらず、日米同盟の重要性を言

う。管も北澤も日米合意に従って、普天間基地の辺野古移設を唱えるばかり。このままでは辺野古のジュゴンが、さらなる大津波を寄せて下さいと『神』に頼むことになりはしないか心配である。

3月12日に予定していた「山原の森と海の歌」コンサートは、4月23日に延期。その日の昼は宮里そばを食べて、1時には会場の名護市国際交流館に着いた。吉川さんが会場の準備を手伝っているうちに、主催する名護市文化協会洋楽部会のメンバーが集ってきて、開演の2時30分には満席になった。嬉しかったことに稲嶺市長の奥さんが私の知人と一緒に来てくれたこと。そして大学時代の友人で保育園を経営している東江さんが、社会学習の名目で若い保母さんたち10名も引き連れて来てくれたこと。その他、思いがけない多くの知人が来てくれて、主催者の大城松健会長も喜んでくれて、感謝多々であった。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

～ジュゴングッズのあるお店～

ギャラリー

カシオペイア

今回ご紹介するのは、今年1月に関西で写真展を開催させて戴いたギャラリー・カシオペイアさんです。お近くの方は是非のぞいてみて下さい。

ギャラリーカシオペイアは関西大学の近くにあります。ギャラリーは、展示会をしたい方や小さなイベントをやりたい方にお貸ししています。

フリースペース的な場所ですので、プライベートな空間としてやりたいことがゆったりとできる場所です。作家さんが作ったグッズも少々販売しています。そして、SDCCのジュゴンキャラクターたちも空間を彩ってくれています。

しばらく企画の予定はありませんが、何かやりたい方にはお貸ししています。また、店主もプライベートで物づくりなどを行うアトリエとして利用しておりますので、HPで予定をご確認のうえ遊びにいらしてください。

今後の予定

6月4日（土）祝島ファンの集い（おいしい食べ物とツアーの報告、展示）、

9月17日（土）～19日（祝）タイの手織り草木染「うさとの服 展示会」などがあります。

<http://cassiopeia.moo.jp/>

☆カシオペイア ※カフェギャラリーと雑貨のお店



スペースお貸しできます。小さな企画 展開中！



じゅごんの里ツアー 見てみよう！ジュゴンの棲む海！

『基地に頼らない暮らし』と取り組む名護市・辺野古を訪れ基地の現状を知り、地元の方々と交流し、やんばるの自然豊かな海と森を満喫します。

日程：6月24日（金）～26日（日） 2泊3日

6/24 昼前に那覇空港着、午後名護市へ

6/25 辺野古テント村訪問・大浦川カヌー・大浦湾船巡りなど

6/26 ヤンバルの森散策 夕刻に那覇空港発

費用：東京発・大阪発：7万円 *現地参加も歓迎です

締め切り：5月30日（現地参加の締め切りは6月12日）

参加希望の方は、下記首都圏・関西事務所まで、メール、TEL、FAXをお願いします。

*費用に含まれるもの：

飛行機代、宿泊代、朝食（25日・26日）、昼食（25日・26日）、夕食（24日・25日）、レンタカー代、ガイド料、船代、保険代



東恩納琢磨さんの説明を聞く参加者
（昨年ツアー、平島にて）

5/21・22「沖縄★辺野古・大浦湾 写真展&交流会」～ジュゴン保護キャンペーンセンター設立10周年記念イベント～

場所：新宿エコギャラリー（新宿中央公園内）都庁裏

時間：21日 12時～18時 交流会 16時～ ゲスト東恩納琢磨さん

22日 10時～17時 交流会 14時～ ゲスト東恩納琢磨さんほか

牧志治さんの写真や折り紙メッセージ、SDCC所蔵写真、ジュゴンイラスト、折り紙教室など予定しています

東京

5/22 “いきものスキスキごった煮パレードon御堂筋” やりますよ！

5月22日（日）15：00 新町北公園（地下鉄西大橋駅下車）に集まれ～（詳細は同封のチラシをご覧ください）

生物多様性の日に、すべてのいのちを祝して御堂筋を歩きましょう♪ジュゴンも人間も安心して暮らせる世界を創るために、思い思いのメッセージを発信しながら一緒にパレードしましょう！ぜひご参加を。

5/15 枚方くずは「五月祭」で写真展示、グッズ販売します♪ 10時～17時

くずは生涯学習市民センター（京阪樟葉駅下車 TEL 050-7102-3131）

大阪

署名

震災後の情勢により、署名提出、政府交渉を延期することになりました。第3次集約は6月末日に変更いたします
皆さまのご協力よろしくお願いたします。

Editor's Note

じゅごんの里ツアーは今年で6回目を迎えます。2003年にはじめて辺野古の浜に立ち、ここに基地を作っちゃいけない！と思いました。それ以来スタッフを続けています。皆さんもぜひ現場を訪れてください。（Y）



4/22 衆議院会館の服部良一議員の事務所を訪問しました。「新基地建設絶対に許さず！」と書き込んだ折り紙ジュゴンを手に記念撮影。

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.56 2011年5月10日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
Tel/Fax 03-5228-1377 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-21
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
（関西連絡先） 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
TEL/FAX 06-6353-0514

